

令和5年度
教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価
報告書（令和4年度の事務対象）

令和5年11月
佐渡市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の規定により、教育委員会は毎年度、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民から信頼される教育行政を目指すため、令和4年度の佐渡市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、報告するものです。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

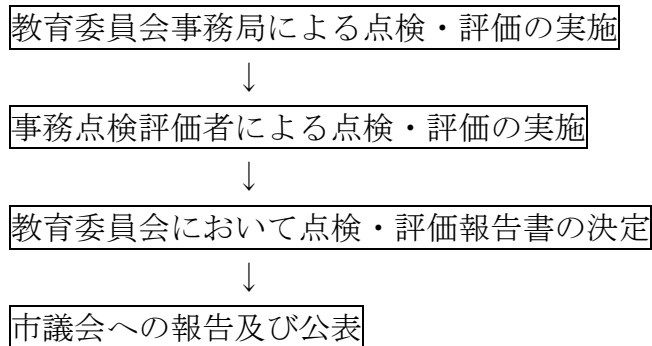
（1）点検及び評価の対象

点検及び評価は、佐渡市教育委員会が執行している事務・事業のうち、令和2年9月に策定した「佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画」に掲げられている、「6つの基本目標を達成するための18の施策」の項目について行いました。

なお、その項目に属する事業について、事業の評価票を作成し、（目標（成果）指標、目標値、実績値、成果（評価）、課題と対策、今後の事務事業の改善案を記入）自己評価を実施しました。

(2) 点検及び評価の手順

次の手順で点検及び評価を行いました。



(3) 自己評価ランク

- 【A】 目標を上回る成果に達したもの (100%以上)
- 【B】 ほぼ目標どおり (80%以上～100%未満)
- 【C】 目標の成果に達しなかったもの (80%未満)

3 学識経験を有する者の知見の活用

点検・評価を実施するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第2項の規定による知見の活用を図るため、選任した学識経験者2人から教育委員会事務局が行った点検・評価（自己評価）について、外部評価を受けるという形で実施しました。

○佐渡市教育委員会 事務点検評価者（令和5年度）

氏名	経歴等
児玉 功	元佐渡市社会教育委員 委員長
和田 大二	元佐渡市立両津中学校長

目 次

1	教育委員会の活動状況について	1
①	教育委員会会議の開催状況	1
②	教育委員会会議以外の活動状況	6
2	教育委員会の事務の管理及び執行の状況	7
①	総合教育センター事業（学校教育課）	7
②	総合教育センター事業（学校教育課）	9
③	自校給食・給食センター管理運営事業（学校教育課）	10
④	特別支援教育推進事業（学校教育課）	12
⑤	総合教育センター事業（学校教育課）	14
⑥	総合学習支援事業（学校教育課）	15
⑦	国際教育A L T事業（学校教育課）	17
⑧	学校I C T活用サポート事業（学校教育課）	18
⑨	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業（学校教育課）	19
⑩	心の教育支援事業（学校教育課）	20
⑪	総合教育センター事業（学校教育課）	22
⑫	グローバル人材育成事業（学校教育課）	23
⑬	生涯学習事業（社会教育課）	25
⑭	公民館活動推進事業（社会教育課）	27
⑮	スポーツ推進事業（社会教育課）	29
⑯	読書推進事業（社会教育課）	31
⑰	博物館・資料館管理運営事業（社会教育課）	33
⑱	世界遺産登録推進事業（世界遺産推進課）	35
⑲	ジオパーク推進事業（社会教育課）	37
⑳	埋蔵文化財調査保存事業（世界遺産推進課）	39

⑳	有形文化財保存活用事業（世界遺産推進課）	40
㉑	芸術事業（社会教育課）	41
㉒	佐渡学推進事業（社会教育課）	43
㉓	青少年育成活動事業（社会教育課）	45
㉔	学校教育振興事業（学校教育課・社会教育課）	47
㉕	学校・家庭・地域の連携促進事業（社会教育課）	48
㉖	児童援助事業・生徒援助事業（教育総務課）	50

参考：評価	施策実施上注目すべき数値の一覧	51
-------	-----------------	----

3	総評	53
---	----	----

1 教育委員会の活動状況について

① 教育委員会会議の開催状況

定例会（12回） 臨時会（5回）

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和4年第6回 定例会 (R4.4.25)	議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市博物館及び資料館所蔵資料利用要綱の制定について 相川郷土博物館の臨時休館について 佐渡市文化振興ビジョンの策定について 佐渡市文化財の指定解除について 佐渡市文化財保護審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市博物館協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市図書館協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市社会教育委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市公民館運営審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市いじめ防止対策等に関する委員会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市不登校児童生徒訪問指導員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等に係る専決処理について 佐渡市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市スポーツ推進委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 佐渡市ジュニアスポーツ指導者等資格取得補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市ジュニアスポーツクラブ遠征費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市小学校・中学校再編統合計画の策定スケジュールについて
令和4年第7回 臨時会 (R4.5.8)	報告事項	教育長職務代理者の指名について 教育委員の議席の指定について 前回の補足説明
令和4年第8回 定例会 (R4.5.26)	議案第38号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について 一般財団法人佐渡文化財団の経営状況報告について 令和4年度佐渡市一般会計補正予算（第3号）の概要について 佐渡市学校米飯給食費補助金交付要綱の一部改正について
令和4年第9回 定例会 (R4.6.27)	議案第39号 議案第40号 報告事項1 報告事項2	学校歯科医の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について 嘆願書について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和4年第10回 定例会 (R4.7.25)	議案第41号 議案第42号 議案第43号 報告事項1 報告事項2	佐渡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について 佐渡市立学校における区域外就学に関する取扱要綱の制定について 佐渡市部活動改革検討懇談会開催要綱の一部を改正する告示の制定について 学校情報について 佐渡市学校給食食材費支援補助金交付要綱の制定について
令和4年第11回 臨時会 (R4.8.5)	議案第44号 議案第45号 協議事項	佐渡市教育委員会職員の人事異動に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分に係る専決処理について 佐渡市小学校・中学校再編統合計画（案）について
令和4年第12回 定例会 (R4.8.18)	議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4 報告事項5	佐渡市立両津小学校アスベスト健康対策等専門会議開催要綱等の一部を改正する告示の制定について 佐渡市教育委員会スクールバス等運行要領の一部を改正する告示の制定について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱について 教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について 学校情報について 令和4年度全国学力・学習状況調査（佐渡市児童生徒）の結果について 令和4年度佐渡市一般会計補正予算（第5号）の概要について 佐渡市立学校等人材育成事業補助金交付要綱等の一部改正について 佐渡市堀口基金選考会議開催要綱の一部改正について
令和4年第13回 定例会 (R4.9.26)	議案第49号 議案第50号 議案第51号 議案第52号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4 報告事項5 報告事項6 報告事項7	佐渡市小学校・中学校再編統合計画の策定について 佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等について 佐渡市教育委員会職員の分限処分について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について 令和5年度入園児童募集について 「佐渡の金山」の世界文化遺産登録に向けた状況について 伝統的建造物群保存地区について 佐渡市立学校の児童及び生徒の文化及び体育活動補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市立学校等遠距離通学児童生徒通学支援及び通学費補助金交付要綱の一部改正について 通級指導教室の新設について
令和4年第14回 臨時会 (R4.10.6)	議案第53号 議案第54号 議案第55号	佐渡市教育委員会職員の人事異動について 佐渡市教育委員会職員の分限処分について 佐渡市博物館マスコットキャラクター名称検討会開催要綱の制定について
令和4年第15回 定例会 (R4.10.27)	議案第56号 議案第57号 報告事項1	佐渡市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和4年第16回 定例会 (R4.11.21)	議案第58号 議案第59号 議案第60号 議案第61号 協議事項 報告事項1 報告事項2	公の施設に係る指定管理者の指定について（勤労青少年ホーム、両津運動広場、両津野球場、両津テニスコート、両津農村広場） 公の施設に係る指定管理者の指定について（両津総合体育館） 公の施設に係る指定管理者の指定について（佐渡スポーツハウス、佐渡市陸上競技場） 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 小木幼稚園の今後のあり方について 学校情報について 令和4年度佐渡市一般会計補正予算（第8号）の概要について
令和4年第17回 定例会 (R4.12.22)	議案第62号 議案第63号 議案第64号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市学校再編統合協議会設置要綱の制定について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 学校情報について 佐渡ジオパーク日本認定10周年記念事業について 佐渡市文化振興ビジョンアクションプラン（案）について さわた図書館基本構想について
令和5年第1回 臨時会 (R5.1.18)	議案第1号	佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等について
令和5年第2回 定例会 (R5.1.26)	議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4	佐渡市教育委員会における佐渡市個人情報保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市教育委員会事務決裁規程等の一部を改正する訓令の制定について 佐渡市文化財保護審議会への諮問について 佐渡市宿根木地区歴史的景観審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱について 学校情報について 放課後児童クラブの運営業務委託について ユネスコへの推薦書の再提出について 佐渡の博物館マスコットキャラクターの名前決定について
令和5年第3回 臨時会 (R5.2.9)	協議事項	令和5年度教育行政方針について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和5年第4回 定例会 （R5.2.21）	議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4 報告事項5 報告事項6 報告事項7 報告事項8	佐渡市文化財の指定解除について 佐渡市文化財の指定解除について 佐渡市公民館条例及び佐渡市金井コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について 佐渡市博物館条例の一部を改正する条例の制定について 管理職教員の人事異動内申について 佐渡市伝統的建造物群保存地区保存条例の制定について 伝統的建造物群保存地区に係る佐渡市税条例の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について 学校情報について 令和4年度佐渡市一般会計補正予算（第12号）について 令和5年度佐渡市一般会計当初予算について 損害賠償の額を定めることについて 損害賠償の額を定めることについて 令和3年度図書館ビジョン実施計画評価について 佐渡市立学校の児童及び生徒の文化及び体育活動費補助金交付要綱の一部改正について 佐渡市立学校等人材育成事業補助金交付要綱等の一部改正について
令和5年第5回 定例会 （R5.3.20）	議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 協議事項	佐渡市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の全部を改正する規則の制定について 佐渡市文化振興ビジョンアクションプランの策定について 佐渡市スポーツ推進委員の委嘱について 佐渡市図書館協議会委員の委嘱について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校再編統合協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動について 教職員の人事異動内申に係る専決処理について 学校情報について 令和5年度佐渡市学校教育の重点（案）について 佐渡市ジュニアスポーツ指導者等資格取得補助金要綱の一部改正について 高齢者の社会教育施設の利用料金と社会教育に関する講座参加の受講料を無償化することについて

② 教育委員会会議以外の活動状況

総合教育会議

回（開催日）	会 場	議 題
令和4年度第1回 (R5.3.17)	中央図書館2階 講座室	1 佐渡の子どもたちの教育について 2 佐渡市 SDGs 未来都市計画について 3 佐渡市小学校・中学校再編統合計画進捗状況について

勉強会（学習会）

開催日	会 場	議 題
(R4.6.27)	両津地区公民館3階 第1学習室	1 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について

会議及び研修会

開催日	会議名等
(R4.6.1)	令和4年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（書面開催）
(R4.6.10)	令和4年度関東地区都市教育長協議会総会（書面開催）
(R4.9.16)	令和4年度新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（書面開催）
(R4.11.14)	令和4年度下越教育事務所管内教育長会議（新発田市）
(R5.2.10)	令和4年度市町村教育長・教育委員研究協議会（オンライン）

その他事業等への参加

開催日	会議名等
(R4.4.1)	辞令交付式
(R4.6.27)	I C T（タブレット）を活用した授業の視察（新穂中学校）
(R4.7.25)	子ども若者センターの視察
(R4.8.15)	二十歳の集い（アミューズメント佐渡）
(R4.8.22～26)	全国離島交流中学生野球大会（畑野球場ほか）

2 教育委員会の事務の管理及び執行の状況

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策1 学ぶ意欲を高め確かな学力を育成する教育】					
事業概要	教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催し、学力の向上と家庭学習習慣の定着を図る。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	教職員の指導力向上により、児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）		%	小国-0.7 小算-3.2 【C】	小全国 平均以上 【C】	小国-0.6 小算-2.2 【C】	小全国 平均以上
算式	平均正答率の全国との差		中国-0.6 中数-3.2 【C】	中全国 平均以上 【C】	中国-1.0 中数-4.4 【C】	中全国 平均以上
標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）		%	小80 【B】	小90 【C】	小70.5 【C】	小80
算式	偏差値50を上回った教科数／実施教科数		中52 【B】	中60 【C】	中40.0 【C】	中50

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	学校支援訪問における各校への指導			100	100	100	100
	指標	肯定的評価の割合					
2	校長会と連携した学力向上の取組			3	2	2	2
	指標	校長会との連携会議の開催回数					
3	総合教育センター事業			12 (396人)	12 (450人)	12 (484人)	12 (450人)
	指標	センター主催研修会実施回数					

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	学校支援訪問における各校への指導 【A】	【成果】学校支援訪問での学校評価及び授業への指導について、肯定的評価が100%だった。各校の学校課題に寄り添った適切な指導がなされたと判断する。 【課題と対策】今後も学校課題に寄り添った訪問指導を継続する。さらに、訪問後も働き掛けを継続し年間を通じた支援を実施できるよう努める。				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	校長会と連携した学力向上の取組 【A】	【成果】小中校長会の学力向上の取組についての情報共有ができた。小中の取組の共有や協働取組、市教委との意見交換ができた。 【課題と対策】小中共通の取組評価項目を設定し、より学力向上について同一歩調で推進できるよう働きかける。
3	総合教育センター事業 【A】	【成果】 密度の濃い研修が行えている。(参加者アンケート等から) 教員だけでなく、図書館事務職員や介助員等にも研修の機会があることで学校そのもののボトムアップが図られている。 【課題と対策】 悉皆研修だけでなく、研修ニーズを把握して希望研修を実施することで学校教職員の研修意欲を高めていく。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>昨年度に引き続き、佐渡総合教育センター主催の研修と市教委指導主事等の学校支援訪問、学力向上推進システムの研修、その他の研修会とのバランスを考慮し、効果的・有機的につながりながら、成果を上げていく。特に令和5年度は、学級力向上研修を実施し各校における学級経営の充実を図る。また、研修後の振り返りに加えて、その後の活用についても働き掛け、研修内容の浸透を図る。</p> <p>家庭学習習慣の定着に向けて、引き続き校長会と連携し、生活習慣の見直しも含め個に応じた学びへの支援を充実していく。また、令和5年度からは授業支援ソフトやAIドリルも活用し、児童生徒の個別化された学びを促進する。さらに、新潟大学教育学部と連携したオンラインによる放課後学習支援を行い、中学生を中心とした学習意欲の向上を目指す。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策2 豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ道德教育】					
事業概要	教育センター主催研修講座等、教員の研修講座を開催する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
すべての学級で道德の授業を公開している割合(小・中)		%	77	100	94	100
算式	実施校数／市内小中学校数		【C】		【B】	
人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合(小・中)		%	97	100	100	100
算式	実施校数／市内小中学校数		【B】		【A】	

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	総合教育センター講座（道德教育研修講座）			100	70	94	県研修 で代替
	指標	道德教育研修講座の肯定的評価	%				
2	総合教育センター講座（人権教育、同和教育研修講座）			100	70	100	100
	指標	人権教育、同和教育研修講座の肯定的評価	%				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	総合教育センター講座（道德教育研修講座） 【B】	【成果】 上越教育大学の小宮特任教授にお越しいただき、講義と模擬授業をとおして「道德科の授業づくり」について研修した。小・中それぞれの具体的な教材をもとに演習を行った。 【課題と対策】 受講者を道德主任に限定することなく、多くの教員に対面での研修受講の機会をつくり、道德の授業公開に繋げる。					
2	総合教育センター講座（人権教育、同和教育研修講座） 【A】	【成果】 「部落差別をなくす佐渡の会」の石崎氏から、現地学習を含む有意義な学びの時間となった。今年度は相川地区、七浦小学校の高橋校長による文科省主催研修の伝達講習の時間を設けた。 【課題と対策】 石崎氏の講義と現地学習を大切にしながら、独自の内容を盛り込み継続した研修としていく。					

◆Action	今後の事務事業の改善案					
<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、授業等の外部公開を制限したことにより、公開できなかった学校があった。令和5年度は積極的な授業公開を推進し、保護者、地域への啓発も推進する。</p> <p>道德については、今後も指導法や家庭、地域との連携の在り方について研修を継続していく。</p> <p>細事業として総合教育センターの「人権教育、同和教育研修講座」の肯定的評価を指標とし、100%を目標値とする。なお、令和5年度は総合教育センターとして「道德教育研修講座」は実施せず、「道德教育の抜本的改善・充実にかかる支援事業」として道德教育研修会を実施し、参加者の肯定的評価100%を目標とする。</p>						

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	自校給食・給食センター管理運営事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策3 健康でたくましい心身をはぐくむ教育】					
事業概要	自校方式1校、学校給食センター7施設で、地産地消を推進し、安全・安心な学校給食を提供する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	地場産物の使用拡大を目指し、学校給食を生きた食材の教材とし、生産者等への感謝の気持ちを育み、郷土を愛する気持ちを養う。					
目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式		目標値	実績値		
学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）		%	19 【C】	21	21 【A】	23
算式	実績値＝佐渡産野菜使用率＋水産物使用率の平均					
栄養教諭・学校栄養職員が参画した食に関する授業を実施している割合（小・中）		%	83 【B】	90	83 【B】	90
算式	実施校数／市内小中学校数					

◆ D o	事務事業の目標（成果）指標						
枝番	事務事業を構成する主な細事業			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	米以外の地場産食材使用事業			野 菜	野 菜	野 菜	野 菜
	指標	米以外の地場産食材年間使用量の割合（野菜、水産物）	%	14.2 水産物 23.7	17 水産物 25.7	13.8 水産物 27.8	15 水産物 30
2	小学校から中学校までの「9年間で一貫した食育指導」の実施			92.9	100	100	100
	指標	題材に沿った食育指導の実施率	%				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	米以外の地場産食材使用事業 【B】	<p>【成果】</p> <p>野菜については、農業政策課と直売所「佐渡特選」と調整を行い、一部給食センターに地場産野菜の納入を開始した。品目、数量は少ないが新たな地場産納入業者を作ることができ、農家の方と学校給食で使用したい野菜の情報交換を行うことができた。</p> <p>水産物については、農林水産振興課の水産補助事業により、佐渡産水産物の購入額の一部補助があり、積極的な地場産物の使用につながり、使用率が増加した。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>野菜については、調理場の規模に見合った数量と質の確保、配送方法の調整が必要であり、引き続き農業政策課と協議しながら進める。水産物については、昨年度に引き続き農林水産振興課による水産補助事業の継続と、今年度新規事業の県学校給食会が佐渡でとれた魚の水揚げ・加工・納品までを取り持った「佐渡産水揚げの魚を学校給食へ」の事業を活用し、地場産使用率の増加を目指す。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	小学校から中学校までの「9年間で一貫した食育指導」の実施 【A】	【成果】 年度末に行った食育指導に関する食育指導実施調査より、小学校中学校ともに100%の実施率であった。食育指導案を各学校へ配布しており、その活用によって学校教職員と給食センター栄養教諭等の連携が取りやすくなっている。 【課題と対策】 学校の教育計画における食に関する指導の全体計画が整備されていない学校があり、指導主事から各学校へ見直すよう指導した。 給食センター栄養士は受配校数の多さや、給食運営にかかる業務量が多く、食育指導に費やす時間がなかなか作れないのが現状。デジタル化を進めることで指導が一斉に行えたり、媒体の共有が可能になったりする。タブレットの所持や通信環境を整えることも今後できるとよい。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>上記の成果内容が、どれほど使用率上昇につながるか動向を注視していく。</p> <p>農業政策課との打合せの中では、地産地消推進会議を部会ごとに関係機関を招集し、地場産の使用及び食育に関する教育を進める方針である。引き続き生産者や農業政策課、農林水産振興課とも協議を進め、地産地消率向上に努める。</p> <p>また、食育の授業と合わせて、日頃から給食のマナーや正しい食べ方について観察し、必要に応じた指導ができるようにする。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	特別支援教育推進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策4 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育】					
事業概要	障がいに応じた適切な教育を行うため、学校における日常生活の介助や障がいに応じて学習活動のサポートを行う介助員を配置する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	幼児児童生徒それぞれの教育的ニーズを把握し、適切かつ必要な支援体制の整備に努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
基準に基づく介助員の配置割合（小・中）		%	100	100	100	100
算式	配置人数／配置希望人数		【A】	【A】	【A】	
「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）		%	100	100	100	100
算式	作成・活用人数／作成必要人数		【A】	【A】	【A】	

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	介助員意識調査			2	2	100	2
	指標	介助員意識調査の実施回数	回				
2	個別の教育支援計画に係る指導			34	35	35	35
	指標	個別の教育支援計画に係る指導の実施校数	校				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	介助員意識調査	【成果】各校において（1回目）聞き取りを行い、介助員の意識や仕事上の悩みなどを聞き取り、改善しながら進めた。また、必要に応じて公務員としての行動についても指導をお願いした。 市教委から（2回目）次年度の継続・異動等の希望調査を行い、可能な範囲で希望を反映した。配置・仕事内容ともに配慮し、働き甲斐のある職場の実現を図った。 【課題と対策】 各校管理職には、公務員としての行動の他、介助員と職員・介助員同士の関係性にも配慮をお願いしながら、介助の資質向上を図っていく。				
	【A】					
2	個別の教育支援計画に係る指導	【成果】 35校全ての小・中学校において個別の教育支援計画等の作成・活用を指導した。全ての学校で作成・活用していた。 【課題と対策】 作成した支援計画等を保護者面談等で有効活用しているかどうか、聞き取っていく必要がある。				
	【A】					

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>「個別の教育支援計画」等の作成は今年度も目標値を達成できた。発達障がいを含む障がいのある全ての児童生徒の合理的配慮に留意して作成した「個別の教育支援計画」等の活用状況について、今後も学校支援訪問時に確認し、継続していく。</p> <p>また、「個別の教育支援計画」等の作成・活用を通して保護者と連携し、ともに児童生徒を見守るシステムを構築することを目指してきた。このシステムを継続し、保護者との連携を更に強めていく。</p> <p>令和5年度も細事業として、「介助員意識調査の実施回数」を指標とし、目標値を2回とする。1回は各校での聞き取り、2回目は市教委からの継続・異動等希望の聞き取りとして継続し、介助員からの意見や要望をもとに働きやすい環境整備に努める。</p> <p>また、「個別の教育支援計画に係る指導の実施校数」を指標とし、目標値を全学校35校とする。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策5 人間性や社会性の基礎を身に付ける幼児教育】					
事業概要	教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催する。					
対象	教職員、幼児、児童					
意図（目標）	幼稚園、小学校教員の合同研修により互いの教育活動や目指す姿を共有することで、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）		%	64 【C】	70	86 【A】	100
算式	実施小学校数／市小学校数					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	学校支援訪問・校長会における指導			22	22	22	22
	指標	指導した小学校数	校				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	学校支援訪問・校長会における各校への指導 【A】	【成果】 幼保との連携を各校への指導内容とし、全小学校において教育計画の確認と指導を実施した。 【課題と対策】 多くの学校で交流活動を実施しているが、今後計画段階からの連携も含め、取組内容の充実を図る。					

◆Action	今後の事務事業の改善案					
今後も幼保小の円滑な接続を図るため、交流活動の意義や在り方について学校支援訪問、校長会を通じて指導、支援を継続する。また、具体的な連携の在り方について指導、情報提供を行っていく。						

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合学習支援事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策6 佐渡を知り、愛し、誇りとするキャリア教育】					
事業概要	将来、佐渡に貢献できる人材を育成するため、小中学校において、郷土を愛し、夢と誇りをもち、職業観を育むキャリア教育を推進する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・「佐渡学」を中核とした体験的な郷土学習への取組について指導、支援する。 ・中学校における職場体験活動を充実させるため、課題解決学習を取り入れた指導への支援と受入企業の拡充を進める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施中学校／全中学校					
「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施小学校／全小学校					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施（中学校）			100	100	100	100
	指標	実施中学校／全中学校	%				
2	支援訪問における指導			35	35	35	35
	指標	指導した学校数	校				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施 【A】	<p>【成果】 事業所と学校の合同準備会を行うことで、ミッションの設定についての理解を深め、全ての中学校で課題解決型職場体験を実施することができた。</p> <p>【課題と対策】 持続可能な取組にするためには事業所側の負担を軽減する必要がある。継続事業所については重複する研修内容を減らすことにする。また、事業所開拓や研修会の開催などの支援を継続していく。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	支援訪問における指導 【A】	<p>【成果】 各小中学校に対して「わたしをかんガエルノート」を含めたキャリア・パスポートを教育計画に記載し、計画的に活用するように指導した。</p> <p>【課題と対策】 キャリア・パスポートについての内容を教育計画に記載していない学校が14校となっている。今年度の支援訪問により35校全ての小中学校で教育計画に記載して計画的にキャリア・パスポートの指導が推進できるようにする。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>「課題解決型職場体験」を佐渡市の職場体験として定着させるため、関係各課、企業と連携して事業を進める。</p> <p>「わたしをかんガエルノート」等を含めたキャリア・パスポートを整備し、全ての小学校と中学校で取組を進められるように支援する。また、新たに幼児用のシートも作成し、幼保小との連携を進める。更に、「わたしをかんガエルノート」等を有効活用するために、指導計画に位置付けられていない学校へは、支援訪問の際に、指導計画に確実に位置付け、計画的に活用するよう支援し、細事業として全35校の実施を目標値とする。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n		事務事業の概要	担当課	学校教育課		
事務事業名		国際教育AL T事業				
教育大綱基本方針		佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進				
基本目標		2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】				
事業概要		英語を母国語とするAL T（外国語指導助手）を任用し、小中学校に派遣して、コミュニケーション能力の育成と異文化交流を行い、国際教育を推進する。				
対象		教職員、児童、生徒				
意図（目標）		小学校へ外国語教育が本格的に導入されたことを踏まえ、小・中連携を意識した英語指導法研修を進めるとともに、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の充実に努める。				
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合		%	69 【C】	80	60 【C】	80
算式	実施中学校区数／市中学校区数					

◆ D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	国際教育AL T事業			100 (1)	100 (1)	100 (1)	100 (1)
	指標	外国語指導助手の小・中接続のための研修・交流への参加率（実施回数）	% (回)				

◆ C h e c k		事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	国際教育AL T事業 【B】	<p>【成果】 令和4年度より従来の配置人数である8名体制となり、巡回指導体制を強化することができた。また、AL Tの指導力向上のための研修を1回（2日間）実施し、小中の効果的な接続等について研修を行った。</p> <p>【課題と対策】 校内研修へのAL T活用状況が少ないため、各校へAL T活用について指導及び依頼を行う。 また、日本の生活環境に負担を感じさせないよう、ミーティング等を通じて困っていることはないか確認していく。</p>				

◆ A c t i o n		今後の事務事業の改善案				
<p>校内研修にAL Tを積極的に活用してもらうために、打合せや研修会を通して指導及び依頼を行っていく。</p> <p>また、月1回行っているミーティングやメール等で困っていることを確認し、AL Tが教育業務に専念できるよう生活支援を行う。</p>						

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課・教育総務課			
事務事業名	学校ICT活用サポート事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】					
事業概要	学校における教職員のICT 機器活用をサポートし、負担軽減を図る。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	ICT機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての児童生徒に分かりやすい授業を提供し学力向上を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数／市内小中学校数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
①	ICT支援員の配置			987 h	280 h	273 h	380 h
	指標	ICT支援員の活動時間	h				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	ICT支援員の配置 【B】	<p>【成果】 学校への定期訪問だけでなく、学校からの電話による問い合わせにも対応した。また、機器の操作法研修を多くの学校で実施し、学校での一人一台端末利用を推進した。</p> <p>【課題と対策】 今後、一人一台端末のより一層の活用を推進する必要がある。</p>					

◆ A c t i o n	今後の事務事業の改善案					
令和5年度も機器のトラブル対応等、学校をサポートする体制構築に努めていく。また、一人一台端末がより日常的に活用されるよう教職員への研修や、情報提供に努めていく。さらに学習支援ソフトを導入し、ICT機器活用における教職員の負担軽減を図る。						

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策8 安全な学校環境づくり】					
事業概要	・佐渡市子ども安全応援隊員（スクールガード・リーダー）の依頼 ・佐渡市子ども安全応援隊員による通学路の見回り（8時間/月）					
対象	児童					
意図（目標）	児童が安心して登下校できる環境づくりを行う。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
通学路点検の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数/市内小中学校数					
防災教育の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数/市内小中学校数					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			12	15	12	15
	指標	リーダー数	人				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 【B】	【成果】 通学路巡回による危険箇所の把握と学校への報告、防犯に効果があった。 【課題と対策】 スクールガードリーダーの確保が難しく、未配置地区の解消が進まない。未配置解消に向け学校運営協議会等と連携し、地域住民への理解と協力を得て募集を行っていく。				

◆Action	今後の事務事業の改善案					
他の防犯や交通安全に関する団体との連携強化、地域住民の理解による協力を高め、地域全体で見守り、安全を確保する体制の構築と意識の醸成を図る。 また、学校運営協議会を通じて「ながら見守り活動」等の導入を検討し、見守りの目を増やしつつ、スクールガードリーダーの確保も行っていく。 各学校への防災教育及び危機管理マニュアルの見直しについて指導を、年2回実施することを目標とする。						

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	心の教育支援事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策9 安心して学べる学校づくり】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員事業（中学校5校に6名の相談員を配置） 不登校児童生徒訪問指導事業（不登校児童生徒の家庭を訪問） 適応指導教室運営事業（あすなる教室の運営、いじめ不登校電話相談） 					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、即時対応を図るための体制づくりを支援する。 不登校児童生徒への的確な対応を進めるため、新潟県が示す「子どもとともに1・2・3運動」佐渡市共通の「心の健康チェック」の活用を徹底するとともに、適応指導教室や訪問相談員との連携を進める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
いじめの解消率（小・中）		%	91	100	77	100
算式	いじめ解消数／いじめ発生数		【B】		【C】	
不登校児童生徒の割合（小・中）		%	小1.3	小1.0	小1.44	小1.3
算式	不登校児童生徒数／児童生徒数		中4.1	中4.1	中4.87	中5.0
			【B】		【C】	

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	「心の教室相談員」事業			833	800	833	800
	指標	相談員1名当たりの相談生徒延べ人数	人				
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業			25.0	60.0	57.4	60.0
	指標	欠席日数減少者数／前年度不登校者数	%				
3	「心の健康チェック」推進支援事業			0.87	0.80	0.97	0.80
	指標	新規不登校者数／児童生徒数	%				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	「心の教室相談員」事業 【A】	<p>【成果】 いじめの早期発見、孤立しそうな子どもの心の居場所として大きな効果があった。特に、1校に2名配置した中学校では、心の居場所として、生徒の登校に大きな役割を果たした。</p> <p>【課題と対策】 日頃より、相談員と学校が情報共有を密にして、親身で丁寧な即時対応に結びつける。 相談員の配置については、次年度の学校の実態の見通しを的確に行い、学校の実態に応じたものとする。</p>

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業 【B】	<p>【成果】 不登校訪問指導員の訪問や適応指導教室の利用者により学校への登校ができるようになった児童・生徒も見られた。その結果、不登校者の学校復帰や欠席日数の減少に効果が見られた。</p> <p>【課題と対策】 全国的に不登校の児童生徒数が大幅に増加している。佐渡市も同様に小学校・中学校とも不登校の増加が見られた。一旦不登校になると、継続する傾向が強い。同時に、ひきこもりに近い状態では該当者へ不登校訪問指導員や適応指導教室の利用を働きかけても、本人や保護者の理解が得られず、活用されにくい状況がみられた。不登校の傾向の初期段階で積極的な活用を促していく。</p>
3	「心の健康チェック」推進支援事業 【B】	<p>【成果】 「心の健康チェック」アンケートを毎月タブレットで実施することができた。結果を確認し、日頃から教育相談等に活用している学校がみられた。友人や教員との関係等きめ細やかな対応が可能となり、児童生徒の内面や人間関係の把握に活用され、トラブルの予防や改善に、ある程度の効果が見られた。</p> <p>【課題と対策】 アンケートの実施は、ほぼ対象の学校で実施できている。概ね適切な活用はされているが、不登校の増加を防げていない。不登校の要因となっているものに迅速に対応するように他の教育相談アンケートと組み合わせ「心の健康チェック」の適切な活用を図り、発生率の減少に努める。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>令和4年4月に改定された「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ対応を確実に学校で実践できるよう指導する。特に、考え、議論する道徳や特別活動を推進したり、「市いじめ対応フロー図」（令和4年度版）に基づき、被害児童等に寄り添う親身な対応で解消に取り組んだりする。いじめの解消・不登校の発生防止のために積極的な「心の教室相談員」、「不登校訪問指導員」、「適応指導教室」の活用を推進する。</p> <p>児童生徒の心の変化を継続的に調査する「心の健康チェック」の一層の活用を図る。アンケートの実施をタブレットで行い、データ処理を迅速化し、その累積されたデータと各学校での適切な相談業務を連携させて有効な指導に生かせるよう支援していく。</p> <p>また、成果指標の「いじめ解消率」は、3学期に発生したいじめの解消確認が翌年度になることから一年度間の取組成果をみるための指標としては相応しくないものと考え、令和5年度からは、「いじめ情報を受けての対策委員会の開設100%」に変更させていただく。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策 10 大学や研究機関を活用した教育】					
事業概要	教員の研修講座を開催する。（基本研修、課題別研修、自主研修他）					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 大学や研究機関と連携し、その関連施設や職員を活用した教育活動例について小中学校等に提案する。 I C T等のシステムを活用し、遠隔地の大学や研究機関と教職員研修を中心とした交流を進める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式		目標値	実績値		
大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）		%	74 【C】	100	83 【B】	90
算式	実施小中学校数／市小中学校数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	研修支援事業（学習意欲向上プロジェクト）			9	13	8	13
	指標	中学校区各校への働きかけ	校				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	学習意欲向上プロジェクト 【C】	<p>【成果】 「学習意欲向上プロジェクト」は、内容が分かりづらいことから「研修支援事業」と改め実施している。「先進地視察」は県内を中心に3地区で実施、「講師招聘」はオンラインによる研修等も含め、6地区で実施した。（1地区は予算内で両方を実施）</p> <p>【課題と対策】 コロナ禍の影響が徐々に薄れ、従来の姿に戻りつつある。適切な働きかけをして、令和5年度はすべての中学校区で実施する。</p>					

◆ A c t i o n	今後の事務事業の改善案					
<p>令和5年度も本事業を「研修支援事業」として継続する。講師招聘か島外視察のいずれかであったが、予算の範囲内でオンライン研修と島外視察の併用を認め、中学校区のニーズに合った研修を立案実施する。各中学校区の幹事校と担当者を明確にし、計画的に本事業を継続する。昨年度と同様に予算の範囲内でオンライン研修と島外視察の併用を認めることとしたい。コロナによる制限が緩和されたので、各校に積極的な情報提供を行っていく。</p>						

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	グローバル人材育成事業（市立学校等人材育成事業）					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策 11 大学・大学生等との交流】					
事業概要	市立小・中学校、高等学校等が市内の人材や地域性を活かした教育活動によりキャリア発達を促進し、将来を担い、地域社会の発展に貢献する児童・生徒の育成を目的とした事業の経費を支援する。					
対象	児童、生徒					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・大学関係者や大学生等と市内小中学校、高等学校が交流する教育活動を奨励する。 ・市内高等学校と連携し、児童生徒の視察研修を支援する。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）		%	37 【B】	40	46 【A】	50
算式	大学・大学生等と交流した学校数／全小・中学校数					
海外研修支援の件数		件	— (中止)	1	— (中止)	1
算式	海外研修支援の件数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供			2	2	1	2
	指標	校長会における情報提供の回数	回				
2	佐渡地区高校生海外訪問			— (中止)	5	— (中止)	5
	指標	参加生徒数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供 【C】	【成果】 校長会において大学と連携した教育活動の実施を推奨した。 【課題と対策】 各校において実施している大学等と連携した教育活動の情報を収集し、その効果を共有する。				
2	佐渡地区高校生海外訪問 【—】	【成果】 佐渡地区高校生アメリカ海外研修を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、実施を見送った。 【課題と対策】 今後の海外への訪問事業の在り方について、実際の訪問ができない時の、それに代わる代替策が必要である。				

◆Action	今後の事務事業の改善案
<p>視察研修の実施においては、今後、募集対象を小・中学生にも広げ、将来の地域社会を担う児童・生徒の育成を図る。視察研修が困難な場合は、オンライン等による文化交流などを推し進めていく。</p> <p>また、大学と連携した、学生ボランティアによる放課後学習支援事業を実施し、主に中学生の学習意欲向上を図る。</p>	

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	生涯学習事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	市民が趣味や教養を高める等、自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができ、又、活動の継続が図れるよう各種学習の機会を提供する。					
対象	市民					
意図（目標）	人と人との学び合いやふれあいを深め、それぞれの個性や能力を伸ばしながら一人一人の人生を充実させるとともに、地域の文化を高め、活力あるまちづくりと地域社会の形成や発展を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度	4年度（評価年度）		5年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
生涯学習事業参加者		人	5,694	13,000	12,160	13,000
算式	生涯学習事業参加者数		【C】	【B】		

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度	4年度（評価年度）		5年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	市民大学講座			605	600	691	700
	指標	市民大学講座受講者数	人				
2	高齢者学級			682	800	1,213	1,250
	指標	高齢者学級参加者数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市民大学講座	【成果】 目標人数を達成することが出来た。 【課題と対策】 新型コロナウイルス感染拡大防止の措置をとりながら、講座を開催することができた。 しかし、講座開設会場から遠方地区に在住している方の参加が少なかった。 令和5年度は、本会場以外に、サテライト会場を設け（羽茂・相川）会場から遠方地区に在住している方からも参加してもらうようにする。 また、関係団体と協力しながら、文化芸術の振興や伝統芸能等、市民の方に知っていただきたい情報を提供する。				
	【A】					
2	高齢者学級	【成果】 高齢者を対象に意欲的に学習の場に参加してもらい、仲間づくりや健康づくりに取り組みながら、生きがいを見つけてもらう場を提供した。 【課題と対策】 例年同じ方が参加することが多くなり、参加者の固定化や新規参加者の減少が課題である。 多くの高齢者が楽しみながら教室に参加し、生きがいを見つけてもらえるよう、新規参加できる環境を増やしたい。				
	【A】					

◆Action	今後の事務事業の改善案
<p>生涯学習の理念に基づき、家庭教育、青少年教育、高齢者学級等様々な世代を対象にした講座の開催に取り組んでいく。</p> <p>また、各種事業内容についてはアンケート調査を実施し、参加者の要望を講座等に取り入れ、ニーズに沿った講座を開催するほか、佐渡市として取り組むべき文化や芸術を振興する講座を開講し、佐渡市の今日的課題解決に寄与する。</p>	

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	公民館活動推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	公民館講座を開催し、市民の学習意欲を高めるとともに、成果の発表の場として、各地区で芸能祭や文化祭を市民協働により開催する。					
対象	市民					
意図（目標）	交流・学習の機会を作り、市民の学習意欲を高めるとともに、地域や参加者の協働精神を醸成する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
公民館利用者数		万人	14.1	18.0	14.1	18.0
算式	公民館利用者数		【C】		【C】	

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	事務事業を構成する主な細事業			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	登録自主講座			276	266	266	270
	指標	登録自主講座数	件				
2	公民館講座			22	27	28	27
	指標	公民館講座数	件				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	登録自主講座	<p>【成果】 目標値は達成できたが、前年度に比べると講座数が減った。しかし、趣味や生きがいがいづくりに寄与することにより、心と身体の健康づくりへつなげることができた。</p> <p>【課題と対策】 指導者不足や高齢化の影響はあるが、今後はますます人口が減少することになり、このままでは、これまでと同じような数の自主講座が開設されるのは難しいことから、公民館講座等で数年かけて後継者育成等を行い自主講座で活動できるよう進めて行く。</p>				
	【A】					
2	公民館講座	<p>【成果】 趣味や生きがいがいづくりに寄与することにより、心と身体の健康づくりへつなげることができた。</p> <p>【課題と対策】 学習機会の創出は行っているが、受講生の固定化、開設講座の固定化がみえる。市民からもっと興味を持ってもらえるよう、必要課題、要求課題に基づいて講座を開設する必要がある。又、公民館講座として3年経過した講座は、自主講座で活動できるようすすめて行く必要がある。</p>				
	【A】					

◆Action	今後の事務事業の改善案
<p>市民の交流・学習機会を提供し、地域や参加者の協働精神を醸成するために、毎年開講している講座だけでなく、佐渡市として進める必要のある伝統文化や芸術振興に関する講座や時代のニーズに対応した新たな講座を開催し、新規参加者の獲得、後継者の育成を進める。</p> <p>また、公民館講座として定着したものについては自主講座への移行を薦め、市民が自立して生涯学習を実践できる仕組みづくりを進める。</p> <p>そして、受講生の成果発表の場とし芸能祭・文化祭を開催し、参加者の生きがいづくりや心と身体の健康づくりを推進する。</p>	

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	スポーツ推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策13 スポーツの推進】					
事業概要	スポーツ推進審議会運営事業、スポーツ指導者講習会開催事業、スポーツ大会・教室等運営事業、スポーツ少年団支援事業等、市民のスポーツ推進のための企画、運営、指導、助言を行うとともに、スポーツ競技団体の育成、関係団体の組織体制強化を進める。					
対象	市民					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までのさまざまなニーズに対応できるスポーツ環境の充実を図る。 スポーツを通じて世代間の交流を深め、市民相互の理解と連携・協力体制を築く。 スポーツに関する情報をいつでも手軽に入手・発信できるような情報提供の仕組みの充実を図る。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
体育施設利用者数		万人	37.7 【C】	51.1	39.4 【C】	51.1
算式	体育施設利用者数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	スポーツ教室等開催事業			1,146 (81回)	3,000 (150回)	2,282 (165回)	3,000 (180回)
	指標	参加者数（開催数）	人 (回)				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	スポーツ教室等開催事業 【C】	<p>【成果】 親子スポーツ教室、ウォーキングや筋トレ・ストレッチなどのエクササイズ教室など、日頃スポーツをしていない人も気軽に始められる教室を全10地区で計165回実施し、前年に比べて参加者は大幅に増加した。</p> <p>【課題と対策】 参加者が少なかった教室もあったので、内容について検証し、より楽しんでいただけるメニューを提供することで、多くの方から参加していただけるよう取り組んで行く。</p>					

◆Action	今後の事務事業の改善案
<p>成人のスポーツ実施率や子どもの体力の低下、高齢者の健康対策が指摘される中、年代に応じたスポーツ活動を行うきっかけをつくり、一層のスポーツ推進を図る必要があることから、佐渡市スポーツ推進委員協議会、(一財)佐渡市スポーツ協会、地区スポーツ協会と連携し、佐渡市スポーツ推進計画に基づき事業を展開する。また、指導者講習会の実施や、指導者の資格取得を支援することで、それぞれの世代が必要とする運動を指導する専門人材を育成し、提供メニューの充実を図るとともに、市内で開催されるスポーツ行事や指導者等の情報を広く提供することで、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。</p>	

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	読書推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 14 佐渡の人づくりを支える、地域の学びの拠点としての図書館運営】					
事業概要	図書館サービスの一環として、各種催しを行う。 ・ブックスタート事業・育児支援活動 ・子ども読書レベルアップ研修ほか各種事業実施 ・保育園、小学校、中学校、高校との連携（団体貸出他） ・図書館間相互貸借事業（県立図書館、新潟大学附属図書館、各公共図書館） ・幼児期から高齢者までを対象とした読書推進活動の実施					
対象	市民					
意図（目標）	・幼児期から高齢者まで本に親んでもらうために、おはなし会や読書週間に多彩な事業を展開する。また、図書館から遠い地域に移動図書館車を運行し、読書の推進を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
図書館・図書室の来館者数		万人	12.1	15.0	12.7	15.0
算式	図書館・図書室への延来館者数		【B】		【B】	

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	読書推進事業			362,982	360,000	365,428	360,000
	指標	蔵書冊数	冊				
2	図書館間相互貸借事業			1,879	1,900	1,589	1,900
	指標	市外図書館等からの借受冊数	冊				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	読書推進事業	【成果】 令和4年度、佐渡市の図書館・図書室全体で新たに登録をした図書は、8,898冊（内購入は6,087冊）である。図書のみならず、雑誌・AV等の貸出等を行うことで、読書活動や個人の学習活動の支援に寄与している。 個人貸出、団体貸出ともに、令和3年度と令和4年度を比較するとほぼ横ばいとなっている。 行事等を実施することで集客を図ったものの、令和3年度に比べ利用は伸びなかった。佐渡市内におけるコロナ感染者の拡大などの影響も一因と考えられる。 行事に関しては、絵本フェスタを令和4年11月3日に、トキのむら元気館で開催した。親子を対象に、絵をテーマとしたイベントを実施することで、絵本への興味を喚起し、本に親しみ、読書の普及促進を目的とし、絵本の中の帽子の工作作りや、お菓子づくり、絵本読み聞かせ、すごろく、アニメーション等を実施した。 おでかけ図書館を実施し市内保育園、小中学校等を訪問した。また、「図書館、行かんかさ！」として、「落語を楽しもう」「図書館×				
	【A】					

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		<p>SDGs 発見ラリー」「音楽付きおはなしかい」「豆本づくり」などに取り組んだ。また、音声図書やその再生機器を購入するなど高齢者や障がい者への読書推進を図った。</p> <p>【課題と対策】 令和4年度は行事等積極的に実施したものの、図書館利用の増加には至らなかった。コロナの感染拡大も一因ではあるが、行事等の周知不足も要因であると考え。令和5年度は広報をしっかりと行い、図書館利用を促したい。</p>
2	<p>図書館間相互貸借事業</p> <p>【B】</p>	<p>【成果】 窓口での案内等により利用者にサービス内容が浸透してきている。</p> <p>令和4年度については、「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で200冊、さわた図書館で300冊を借り受け、利用者に提供した。実績値の1,589冊に、この500冊が含まれている。</p> <p>【課題と対策】 引き続き、利用者のニーズを把握し、求める資料を提供できるよう情報収集や職員のスキルアップに努めたい。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>コロナが5類に移行したことにより行動制限がなくなりより図書館の利用ニーズは増えると予測されるので、閲覧席、学習場所を従来の席数に戻す事を検討していく。ただし、コロナ自体が終息したわけではないので、基本的な感染対策の換気や、手指消毒液の設置等は継続して行う</p> <p>ウイズコロナの図書館のあり方として、適切な感染対策を継続するとともに、行事や情報発信を行い、図書館の利用推進を図る。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	博物館・資料館管理運営事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	佐渡の歴史・文化・自然の調査研究と普及啓発活動を円滑に進める。					
対象	市民、国内外の観光客等					
意図（目標）	来館者に佐渡の歴史・文化・自然に対する理解を深めてもらう。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度	4年度（評価年度）		5年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数		人	31,471	57,800	41,927	61,900
算式	入館した人数		【C】		【C】	

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	佐渡博物館特別展事業			4,046	6,600	5,864	6,600
	指標	特別展開催期間中入館者数	人				
2	イベント・体験事業・出前授業			1,437	1,800	1,162	1,800
	指標	参加者数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	佐渡博物館特別展事業 【B】	<p>【成果】</p> <p>令和4年度の入館者増加の取り組みとして、計画に沿った実施が概ねできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別写真展「宮本常一写真で読む佐渡」1,463名 （最終回）「自前の文化」 令和4年4月1日～令和4年6月15日 ・企画展「クジラから見る佐渡人と海の文化」2,071名 令和4年7月23日～令和4年10月2日 ・企画展「佐渡の人形芝居たち」1,341名 令和4年7月31日～令和4年9月11日 ・企画展「佐渡市所蔵刀剣展」1,620名 令和4年10月1日～令和4年11月30日 ・鈍翁茶会関連展示「佐渡の美術・工芸」598名 令和4年10月8日～令和4年10月23日 ・企画展「美しい能」216名 令和4年11月2日～令和4年11月6日 ・企画展「布施伸介作品展」1,496名 令和4年10月8日～令和4年12月11日 ・企画展「佐渡に人が住みはじめたころ」780名 令和4年12月17日～令和5年3月21日 				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		<p>【課題と対策】</p> <p>企画段階で実施したいと思ったことは大枠では実施できたが、展示内容や打合せ内容から、会期直前で変更を余儀なくさせられ、企画の趣旨から逸脱する部分があったことから、打合せ及び議事録作成の徹底、複数人対応などの対応が必要である。また、企画展の内容をより一層高める努力が必要である。</p>
2	<p>イベント・体験事業</p> <p>【C】</p>	<p>【成果】</p> <p>気軽に博物館へ足を運んでいただく機会として、イベント・ワークショップを展開し、参加者からのアンケートでも満足を得ることができた。公民館との連携事業として講師を受持ち現地での説明や博物館を利用した見学、また博物館関連施設への見学を取り入れ、今後の利用拡大のきっかけ作りを行った。文学歴史散歩では定員を超える申込みがあり、市民の興味・関心の高さを知ることができた。</p> <p><講座>・ジュニア学芸員養成講座 前期（全6回） 19名 後期（全6回） 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学歴史散歩 鳥越文庫探訪 36名 ・佐渡学セミナー 74名 ・新大シンポジウム 112名 <p><イベント>・ナイトミュージアム 24名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタニカル・フェスティバル 170名 ・あつまれ！さどはく 119名 <p><体験>・植物園 野草石けんづくり教室 27名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両津博 切り紙ワークショップ 19名 ・天文教室 38名 ・職場体験 4校 12名 <p><出前授業>20件 465名</p> <p><講師依頼>2件 公民館連携事業 両津編・相川編 12名</p> <p><博物館実習> 大東文化大学1名 新潟大学21名 22名</p> <p>【課題と対策】</p> <p>博物館として今後も継続していく事業かどうかを効果の検証も踏まえつつ検討する必要がある。ニーズの把握が必要である。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>市民から親しまれる博物館の実現を目指し、情報収集と博物館資料の調査研究に取り組み、興味や関心を集める企画展や特別展を開催するとともに、ワークショップ等の体験イベント、小中学校への出前授業のほか、公民館等との連携事業を進め、博物館の魅力を発信していく。</p> <p>また、商店街など博物館の外を展示場所に活用するなど、地域と連携した新たな取り組みや、佐渡植物園の魅力を発信し佐渡の植物への関心を深め、利用を高めていく。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	世界遺産登録推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	・佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を活用した普及啓発事業 ・市民参加型の各種普及啓発事業（講演会、出前授業・出前講座など）					
対象	市民					
意図（目標）	市民の郷土への誇りや文化財保護意識の強化につなげるとともに、世界遺産登録に向けた市民意識の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数		人	324 【A】	320	331 【A】	320
算式	参加者数					
世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数		件	53 【A】	45	53 【A】	45
算式	件数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業			324	320	331	320
	指標	参加者数	人				
2	世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等			53	45	53	45
	指標	件数	件				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業 【A】	<p>【成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上で普及啓発事業を計画的に実施し、市民の佐渡金銀山への興味や関心を高めると共に歴史的価値に対する理解を深めることができました。</p> <p>特に、初級者をターゲットに佐渡金銀山展示室無料解説会を14回実施し、新たな支援層の獲得につながった。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>世界遺産登録を見据え、世界遺産関連施設としての認知度向上を図り、展示室の観覧者数の増加につなげるため、市民が気軽に参加できる普及啓発事業を企画するとともに、市民の展示室無料キャンペーンの実施等、市民への学習の機会を幅広く提供する。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	世界遺産を目指す 佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等 【A】	【成果】 市民の佐渡金銀山への興味や関心を高めると共に歴史的価値に対する理解を深めることができた。「佐渡島（さど）の金山」のユネスコへの推薦を契機に、市内企業・団体・集落の出張説明の利用実績が伸びたことは大きな成果であった。 【課題と対策】 世界遺産登録を見据え、市民の佐渡金銀山の保存・活用していくための意識を醸成するため、佐渡金銀山の清掃ボランティア活動や現地学習会の開催等、これまでの知る機会のなかった歴史に直接触れることで、参加者の知的好奇心を高める教育事業を積極的に開催する。 また、幅広い地域・世代に対し、佐渡金銀山の世界遺産としての文化的価値を発信するため、インターネットを活用した情報発信を進める。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>早期の「佐渡島（さど）の金山」世界遺産登録実現を目指すとともに、佐渡金銀山を将来の世代に継承するための保全活動に取り組む担い手を育成するため、若年層への教育活動や幅広い世代・地域への情報発信などに取り組む。</p> <p>また、講演会、現地学習会等の開催により、市民が佐渡金銀山の価値を知り、郷土の宝としての保存・活用をしていくための意識の醸成を図る。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	ジオパーク推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等啓発普及運営事業 ・市民講座・親子体験 ・地域説明会・サイト保全 ・推進協議会運営事業（構想、方向性、実施計画等の策定） ・講演会・シンポジウム・出前授業等 ・ジオパークガイド養成事業 ・調査研究事業 					
対象	市民、教育旅行等の学生、国内外の観光客等					
意図（目標）	島に残る貴重な地質遺産などを市民講座や学校・PTA行事等で周知し、住民同士や観光客との交流を通して理解してもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
ジオパーク推進事業に携わった人数		人	4,781 【B】	5,000	6,121 【A】	6,000
算式	人数					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民等啓発普及運営事業			591	2,000	1,344	2,000
	指標	市民講座や地域説明会に参加した人数	人				
2	講演会・シンポジウム・出前授業等			2,615	3,000	2,799	3,000
	指標	講演会やシンポジウムに参加した人数	人				
3	ジオパークガイド養成事業			169	200	290	200
	指標	ガイドの養成・研修会に参加した人数	人				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市民等啓発普及運営事業 【C】	<p>【成果】</p> <p>市民講座は、計画どおり実施し、世界遺産推進課や農業政策課と連携した講座を開催できた。</p> <p>CNSテレビの番組制作やSNSでの情報発信を行い、新たに夏季期間に佐渡汽船情報コーナーでのジオパークガイドの常駐を試みるなど、島内外への普及啓発に努めた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>各分館等を活用し、積極的に佐渡ジオパークや佐渡の成り立ちを紹介する地域説明会を行う。また、CNSテレビのジオパークの見どころ紹介の番組が市民に浸透してきているので、YouTubeやSNSを積極的に利用して、周知を図る。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	講演会・シンポジウム・出前授業等 【B】	<p>【成果】</p> <p>計画どおり、新種ツチクジラの講演会や佐渡ジオパークフォーラムを開催することができた。</p> <p>また、学校からの講演依頼が増え、ジオパークに関する学習が少しずつ根付いてきた。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>会場に集まる方法とオンラインとの両方で開催するなど、ジオパークに関する講演会や学習の機会を増やし、ジオパークへの興味・関心を高める。</p>
3	ジオパークガイド養成事業 【A】	<p>【成果】</p> <p>ガイド養成講座に参加しやすくなったため、16名の申込があり、9名の準認定ガイドが誕生した。</p> <p>また、ガイド研修では、世界遺産登録に関することや世界農業遺産に関する内容を実施し、ジオパークガイドだけでなく島内の各種ガイドと交流を深めながら研修した。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>地質・地形だけでなく、生き物（動植物）や文化を含めて幅広く研修を実施し、ガイドの資質向上を図る。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>令和元年度の再審査で新たに与えられた課題7項目と、前回からの継続課題の2項目の計9項目について、佐渡ジオパーク推進協議会を推進母体として、「第2次佐渡ジオパーク基本計画及び改訂版アクションプラン」に基づき、令和5年度の再認定審査までに改善に向けた取組みを進める。</p> <p>佐渡の文化・歴史・自然と人々の暮らしと、ジオパーク・世界農業遺産・佐渡金銀山の3資産との関連をいかしたツアーを実施し、佐渡が誇る3資産の魅力を伝える。また、それを元に、教育旅行用のコンテンツの洗い出しを行い、商品化することで交流人口の拡大を図る。</p> <p>令和2～3年度に作成した「オリジナル映像」や、佐渡ジオパークのストーリーをまとめた入門書『よくわかる佐渡ジオパーク』及び小学生高学年用副読本を活用し、島に残る貴重な地質資源や佐渡の成り立ちについて伝え、教育や観光事業を推進する。また、幼児・小学校低学年向けや中学年向けなど、世代に合わせた副読本を作成するなど、子どもの頃から慣れ親しんでもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。</p> <p>県内ジオパーク間での子どもの交流事業や、ジオパークフォーラムなどで、子どもの学習成果を発表する機会を設けるとともに、佐渡博物館でサドムカシツチクジラに関する展示を行うなど、新たな佐渡の魅力を楽しく学ぶことができる取組を進める。</p> <p>佐渡の大地ならではの「佐渡ジオパーク食」の取組を進め、「食」からもジオパークに親しみをもち、楽しんでもらうよう工夫する。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	埋蔵文化財調査保存事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	埋蔵文化財である遺跡・出土遺物等を適切に調査・保存・管理することに併せ、その活用を図る。					
対象	各種遺跡					
意図（目標）	遺跡・出土遺物等の適切な調査・保存・管理及び活用を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
埋蔵文化財出前授業の件数		件	10 【A】	10	11 【A】	11
算式	実施件数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	小・中学校への出前授業実施事業			10	10	11	11
	指標	実施件数	件				
2	新穂銀山跡国史跡追加指定事業			11	—	—	—
	指標	国指定への追加指定にかかる同意数	件				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	小・中学校への出前授業実施事業 【A】	<p>【成果】 目標件数を達成することができ、なおかつ小学生が出前授業の内容に興味を示し、意欲的に参加してくれた。</p> <p>【課題と対策】 新型コロナウイルス対策が第5類に移行したため、学校へさらなる啓発を図る方策を考え、かつ指導者の育成及び確保を図ることが課題としてあげられる。</p>				

◆ A c t i o n	今後の事務事業の改善案					
<p>遺跡の適切な調査と出土遺物の保存・管理を図ると共に、出土遺物の展示や関連する講演会と小・中学校への出前授業や体験学習などの活用事業を通し、市民の文化財保護意識の醸成に向けた取組を進める。</p>						

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	有形文化財保存活用事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	市内指定文化財のうち、有形文化財の適切な保護・保存及び活用を図るため、所有者等が行う修理及び活用に係る経費を支援する。					
対象	有形の指定文化財					
意図（目標）	有形の指定文化財を保護し、後世に残すとともに、その貴重な文化財の活用を促進する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
国県市指定の有形文化財所有者等へ適切な保存管理について周知し必要に応じて支援する。		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	支援要望に対する支援対応割合					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	指定文化財助成事業			5	8	9	5
	指標	助成件数	件				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	指定文化財助成事業 【A】	<p>【成果】 緊急性の高いものから順次継続して修理費用を助成することにより、経年劣化した指定文化財を修復することができた。</p> <p>【課題と対策】 社会環境の変化により、所有者と行政の力だけでは指定文化財を保存し、継承することが困難になっている。</p>					

◆Action	今後の事務事業の改善案					
指定文化財等の保存状態等を把握するため、全所有者への支援制度の紹介に併せて、所有者等による適切保存管理が必要であることを改めて周知するとともに、必要に応じて活動を支援するため助成事業を継続する。						

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	芸術事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策16 文化・芸術の振興】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のさらなる創作意欲の喚起を図り、芸術、文化の振興に寄与するため、市展を開催する。 ・入間市写真連盟との交流により写真作品の相互展示を行う。 ・佐渡の伝統ある版画を全国に普及するため、全国の高校生が集う「はんが甲子園大会」の支援を行う。 					
対象	市民、高校生等					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが芸術、文化に親しみ、文化活動に参加し担い手となるよう、さまざまな文化事業等を充実させる。 ・個人や団体が、連携、交流、協力できるよう、活動の場や機会の拡充に努める。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度	4年度（評価年度）		5年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	目標値
市展出品点数		点	1,070	1,350	1,047	1,350
算式	出品点数		【C】		【C】	

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度	4年度（評価年度）		5年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	市展運営事業			3,028	3,500	2,834	3,500
	指標	入場者数（会期入場者数）	人				
2	市展出品数増加（一般の部）			146	300	123	300
	指標	一般の部出品数	品				
3	市展出品数増加（ジュニアの部）			865	1,050	862	1,050
	指標	ジュニアの部出品数	品				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	市展運営事業 【B】	<p>【成果】 コロナの影響が大きく、目標入場者数には達しなかった。</p> <p>【課題と対策】 コロナ前の生活に戻りつつあるので、入場者数は増加すると考える。今以上に市展自体の内容の充実を図り、たくさんの人から来場していただけるよう努める。</p>				
2	市展出品数増加（一般の部） 【C】	<p>【成果】 出品者の固定化、創作意欲の低下等により、目標数には大きく届かなかった。</p> <p>【課題と対策】 新規の出品者開拓に向け、地区公民館講座参加者、地区文化祭出品者にも出品を促していく。又、出品履歴があり近年出品していない方等にも、出品依頼をし、作品数の増加を目指す。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
3	市展出品数増加 (ジュニアの部) 【B】	<p>【成果】 思うように作品が集まらず、目標としていた出品数に達しなかった。</p> <p>【課題と対策】 ジュニアの部は特に出品点数の減少が著しい。各学校に出品数を割り振り、お願いしているが、なかなか協力が得られていないことによる。今後は、もっと積極的に各学校に出品の依頼を行うように努める。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>減少傾向にある市展の出品点数を維持するため、これまで出品していただいていた方々の創作意欲の維持・向上や新たに出品していただける方の開拓などに力を入れるなど、出品しやすい仕組みづくりについて実行委員会で検討する。</p> <p>特にジュニアの部は年々出品点数が減少しており、小中学校や幼稚園・保育園から出品いただけるよう、出品規程や学校への案内方法を工夫する。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	佐渡学推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 16 文化・芸術の振興】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能を中心とした無形文化財の保存及び担い手育成を進め、市民や文化団体等の活動の活性化を図る。 ・市の実情に即した計画的な文化振興を図れるよう、「佐渡市文化振興ビジョン」を策定する。 					
対象	市民、文化団体等					
意図（目標）	・市のアイデンティティである貴重な文化を保存継承するため、担い手となる人材を育成する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
佐渡民謡団体の活性化		人	467 【B】	500	453 【B】	500
算式	佐渡民謡団体の団員数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	無形文化担い手育成事業（佐渡文化財団）			36	40	31	40
	指標	学校等への講師派遣・楽器貸出件数	件				
2	文化発信イベントの開催（民謡祝祭・鈍翁茶会）			— （中止）	600	790	800
	指標	民謡の祝祭イベントの来客数	人				
3	伝統芸能継承者育成活動の推進			0	2	0	2
	指標	伝統芸能継承事業補助金を活用した取組数	件				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	無形文化担い手育成事業（佐渡文化財団） 【B】	<p>【成果】</p> <p>無形文化の担い手育成に繋がる取組を行う（一財）佐渡文化財団の運営費の一部を補助することにより、文化財団では以下の事業を実施することができた。</p> <p>（1）伝統芸能の継承者育成及びPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形芝居保存会定期公演会の開催（上期45名，下期100名） ・島外イベントへの芸能派遣（上野、池袋、東京ドーム） <p>（2）伝統芸能の常設披露による文化団体活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形芝居保存会定期公演会のオンライン上演会の同時実施 <p>（3）キャリア教育支援及び文化活動担い手育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校等への講師派遣 14件、和楽器貸出8件(延べ 104台) ・茅刈り、わら細工ワークショップ 計9回(延べ 参加者65人) <p>（4）その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「賛助会員制」の充実による支援や寄付金収入の確保（延べ入会件数30件、60口）R4年度収入額 119千円 				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		<p>【課題と対策】 令和2年度に「文化財団のあり方に関する検討結果」、令和3年9月議会では「所管事務調査報告書」として、文化財団に関する意見が出されている。これらに基づき、文化財団では無形文化の担い手育成を柱とした事業に、役員が職員と一体となって取り組んできたところであり、事業実施に関して一定の成果を上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織体制の強化 常勤役員の選任に至らなかったことから、組織体制の強化のため、機会をとらえて候補者と交渉を続けている。 ・ 収入に占める市補助金割合の削減 従来からの物販に加え賛助会員制度の導入や、イベント等への芸能派遣等によるコーディネート料を得ることで自主財源を確保し、安定的に活動できるように努めるよう指導していく。
2	文化発信イベントの開催（民謡の祝祭・鈍翁茶会） 【A】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となっていた下記の事業を3年ぶりに開催できた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 佐渡鈍翁茶会（益田孝翁顕彰事業実行委員会負担金） 開催日 令和4年10月9日（来場者 189名） 会 場 史跡佐渡奉行所跡 ② 佐渡民謡の祝祭（佐渡民謡活性化実行委員会負担金） 開催日 令和4年7月9日（来場者 790名） 会 場 アミューズメント佐渡 <p>【課題と対策】 2事業とも、3年ぶりの開催となり、実施内容の調整に時間がかかったが、何とか無事開催することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 更なる来場者を呼べる仕組み作り 事業の効果を最大限高める為、他の部署や民間事業者等との連携し来場者の増加を目指す。
3	伝統芸能継承者育成活動の推進 【C】	<p>【成果】 伝統芸能の継承者を育成する活動を推進するため、芸能保存団体等における一定の要件に該当する活動費の一部を補助する。コロナ禍での文化活動の停滞もあり、令和4年度における交付申請及び交付実績はなかった。</p> <p>【課題と対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能の保存継承 将来にわたって伝統芸能を保存継承していくためには、後継者育成の取組に加えて、道具類の修繕費用など負担面を軽減する取組も必要である。

◆Action	今後の事務事業の改善案
<p>伝統芸能の担い手育成は、文化の保存継承において喫緊の課題である。一方で、伝承者や担い手、それを支援する者など各主体が役割を認識した中での計画的で長期的な取組が必要なものである。令和4年度に文化振興ビジョン アクションプランを策定し、今後はその進捗を確認していくなかで問題点を探っていくことが重要である。</p>	

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	青少年育成活動事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う青少年が夢と希望をもって自立と自己実現を図れるよう、市民と行政機関が協働して育成していく環境づくりを進める。 ・市内13地区の青少年健全育成協議会の活動及び地域子ども会連絡協議会の活動を支援し、青少年の健全育成を図る。 					
対象	青少年					
意図（目標）	青少年の健全な育成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度	4年度（評価年度）		5年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
青少年健全育成事業参加者数		件	5,356	11,500	7,510	11,500
算式	青少年健全育成事業参加者数		【C】		【C】	

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度	4年度（評価年度）		5年度
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	目標値	
1	青少年健全育成組織支援事業			2,187	4,500	2,628	4,500
	指標	青少年健全育成協議会活動参加人数	人				
2	地域子ども会連絡協議会活動事業			3,169	7,000	4,882	7,000
	指標	地域子ども会連絡協議会活動参加人数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	青少年健全育成組織支援事業 【C】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響で、活動回数が減ったことに伴い、参加人数は目標を下回ったが、各地区で海岸清掃や料理作り等の体験・交流イベントを行い、青少年の健全育成に努めた。</p> <p>【課題と対策】 各協議会で、活動内容や地域団体や学校との連携体制に差がある。今後は、各協議会でそれぞれの課題を見出し、関係機関と情報を共有し、課題解決に向けた活動を実施する。また、市民会議等で意見交換をしながら各地区とも連携を図り、活動をより活発にし、青少年の健全育成のため事業を行う。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	地域子ども会連絡協議会活動事業 【C】	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響による活動回数の減少、子どもの減少による地域子ども会の加入数の減少に伴い、参加人数は目標を下回った。しかし、限られた活動の中で、異学年との交流、地域住民とふれあうことにより、地域を知る機会となった。</p> <p>【課題と対策】 地域子ども会ごとに活動状況や回数に差がある。また、他地域との交流が少ないため、佐渡市子ども会連絡協議会で、地域子ども会の全体に向けた活動を実施する。多くの子ども会から参加いただけるよう、地域子ども会の保護者も巻き込み、企画・運営を行う。 また、地域で実施される事業の継続、子どもたちが参加しやすい事業が実施できるよう支援する。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>インターネットの普及により、子どもたちを取り巻く環境は複雑となっており、生活習慣の乱れやコミュニケーション能力の不足、体力の低下等、様々な課題がみられる。子どもたちが地域や様々な人と関わり合いながら、自ら考え、行動し、他者と共に協調する人間性を養うことが重要である。そのために地域と関係団体等が連携しながら積極的に事業を進めていく。</p> <p>なお、各組織の在り方や推進体制を改めて検証し、より良い組織の運営方法を検討していく。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	学校教育課・社会教育課			
事務事業名	学校教育振興事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の啓発活動を推進する。 ・コミュニティ・スクール設置に向けて準備を進める。 					
対象	教職員、児童、生徒、保護者					
意図（目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健全育成と学習習慣の確立を目指し、PTAや公民館等において家庭教育の啓発活動を推進する。 ・「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させるとともに「コミュニティ・スクール」の設置を目指す。 					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
PTA等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）		%	88 【B】	100	80 【B】	100
算式	実施校数／市内小中学校数					
コミュニティ・スクールの設置数（小・中）		校	35 【A】	35	35 【A】	35
算式	設置数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	協議会の運営等支援			33	35	30	35
	指標	PTA指導者研修会の参加校	校				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会			3	2	2	2
	指標	研修会数	回				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	協議会の運営等支援	【成果】 心身ともに健全な児童・生徒を育成するPTA活動の活性化を図るため、PTA活動に関する研修を実施し、30名の参加者を得た。 【課題と対策】 PTA活動の活性化を図るため、来年度もPTA指導者研修会を開催する。				
	【B】					
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会	【成果】 研修会の実施によりコミュニティ・スクールへの理解を進めることができた。 【課題と対策】 学校運営協議会と地域学校連携事業が一体的に取り組めるように、リーダーとなる地域コーディネーターとCSディレクター向けの研修会を実施していく。				
	【A】					

◆ A c t i o n	今後の事務事業の改善案
全小中学校がコミュニティ・スクールとして充実した活動に取り組めるように研修等を実施するとともに、支援訪問により情報提供を行う。 また、各校へPTA指導者研修会の参加を促し、全35校の参加を目標値とする。	

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	学校・家庭・地域の連携促進事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	各小中学校に配置された地域コーディネーターを中心に、地域の人材を活用して子どもたちの学習を支援するなど、地域と学校の連携・協働を推進する。また、地域人材で構成される家庭教育支援チームと連携し、家庭教育に関する相談対応や親子体験活動を実施し、すべての保護者が安心して家庭教育を行える環境を整える。					
対象	児童、生徒、学校、地域、保護者					
意図（目標）	「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させる。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）		% (校)	94 (33) 【B】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)
算式	実施校数／市内小中学校数					
学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）		% (校)	94 (33) 【B】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)
算式	実施校数／市内小中学校数					
放課後子ども教室を実施している学校（小）		% (校)	40 (9) 【B】	50 (11)	45 (10) 【B】	50 (11)
算式	実施校数／市内小学校数					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度（評価年度）		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	放課後子ども教室参加事業（子ども）			6,517	7,200	6,925	7,500
	指標	参加した子どもの人数	人				
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民）			947	1,100	1,271	1,300
	指標	参画した地域住民の人数	人				

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	放課後子ども教室参加事業（子ども） 【B】	<p>【成果】 昨年度より放課後子ども教室数が1教室増え、子どもの参加人数も増えたが、目標値には達しなかった。</p> <p>【課題と対策】 子どもたちにより多くの体験や学びを得てもらうため、活動環境や活動内容を変えながら取り組む。また、アンケート結果から子どもたちや保護者が希望する活動を組み込み、充実した活動となるよう実施する。又、教室数が増えるよう、未設置の学校に協力依頼をして行く必要がある。</p>				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民） 【A】	<p>【成果】</p> <p>昨年度に比べ、放課後子ども教室実施校及び活動回数が増えたことにより、携わる地域住民が増えた。地域コーディネーターを中心に、子どもたちが充実した活動を行えるような環境を整備した。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>参画する地域住民が固定化されており、より幅広い地域住民の参画を得るため、地域の団体や中学校と連携した体制を検討する。今後も、各教室での活動内容や事業内容を広く周知し、理解を図るとともに、学校や地域とも連携しながら、活動を行う。</p>

◆Action	今後の事務事業の改善案
	<p>地域学校協働活動では、地域コーディネーターが様々な地域人材を活用し、学校行事や授業補助等の学校を支援する活動が主である。今後は、学校運営協議会と地域学校協働本部が連携・協働し、地域課題や学校課題の解決に向けた活動、目指す子ども像に向けた活動を実施するなど、地域全体で子どもたちの成長を支える活動を推進する。それに伴い、地域の教育力の向上を図り、子ども達の社会性の向上や社会を生き抜く力を育む。</p> <p>家庭教育支援については、親子でふれあい、楽しみながらできる活動を実施するとともに、家庭教育や性教育に関する学習機会の提供を行う。また、子ども若者相談センター等、関係機関と連携を図り、充実した事業に繋げる。</p> <p>行政として、地域学校協働本部や各役職の役割を明確にし、学校・家庭・地域の理解を得て、協力要請を行う。また、学校教育課と密に連絡をとり、学校運営協議会と地域学校協働本部が一体的に推進できるよう、体制を整える。また、学校の地域連携担当教員や地域コーディネーターを対象とした研修会を実施し、それぞれの役割、先進地域の事例等を説明し、一人一人が当事者意識を持ち、活動に取り組めるよう支援する。</p>

令和5年度（令和4年度の事務対象）の評価票

◆ P l a n	事務事業の概要	担当課	教育総務課			
事務事業名	児童援助事業・生徒援助事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策18 虐待や貧困から子どもを守るための関係機関との連携強化】					
事業概要	経済的に困窮している児童生徒の保護者に学用品費や学校給食費、修学旅行費等の援助を行う。					
対象	児童、生徒の保護者					
意図（目標）	就学援助が必要とされる家庭すべてに行き届くよう努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	関係機関と連携している割合					

◆ D o	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			3年度 実績値	4年度(評価年度)		5年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業			85	95	89	95
	指標	申請書の回収率	%				
	指標						

◆ C h e c k	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業 【B】	<p>【成果】</p> <p>児童・生徒が家庭の経済事情に関係なく、通常の学校生活を送ることができ、義務教育段階での教育機会の平等化につながった。回収率は目標に達しなかったが、未提出者のうち前年度認定者へ申請の意思確認をするなど、援助が必要な家庭への制度周知は行き渡っている。</p> <p>【課題と対策】</p> <p>児童・生徒数は減少傾向であるが、認定者数は横ばいとなっているため、継続的な支援が必要である。</p> <p>制度を周知徹底し、保護者の申請書の回収率を上げていく。</p>					

◆ A c t i o n	今後の事務事業の改善案					
<p>申請書の簡素化や事務手続きにおける簡略化をすすめ、申請者や学校での過度の負担とならぬよう取り組んでいく。</p> <p>平成17年から就学援助制度の認定基準や給付内容は、国レベルでの一律の基準は設けられておらず、就学援助制度の運用は自治体の裁量に委ねられている。国や他の自治体の動向を常に注視し、国の方針や近隣市町村の事例を参考にしながら運用していく。</p>						

評価

施策実施上注目すべき数値の一覧

基本目標	施策	指標	R2 数値	R3 数値	R4 目標値	R4 数値	R6 目標値
1	1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）【%】	— (中止)	小国-0.7 小算-3.2 【C】 中国-0.6 中数-3.2 【C】	小全国 平均以上 中全国 平均以上	小国-0.6 小算-2.2 【C】 中国-1.0 中数-4.4 【C】	小+2 中±0
		標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）【%】	小84 【B】 中62 【A】	小80 【B】 中52 【B】	小90 中60	小70.5 【C】 中40.0 【C】	95
	2	すべての学級で道徳の授業を公開している割合（小・中）【%】	100 【A】	77 【C】	100	94 【B】	100
		人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）【%】	86 【B】	97 【B】	100	100 【A】	100
	3	学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）【%】	20 【C】	19 【C】	21	21 【A】	30
	4	基準に基づく介助員の配置割合（小・中）【%】	100 【A】	100 【A】	100	100 【A】	100
		「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）【%】	100 【A】	100 【A】	100	100 【A】	100
5	保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）【%】	73 【C】	64 【C】	70	86 【A】	100	
2	6	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）【%】	100 【A】	100 【A】	100	100 【A】	100
		「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）【%】	100 【A】	100 【A】	100	100 【A】	100
	7	小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合（小・中）【%】	100 【A】	69 【C】	80	60 【C】	100
		ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）【%】	74 【C】	100 【A】	100	100 【A】	100
3	8	通学路点検の実施割合（小・中）【%】	100 【A】	100 【A】	100	100 【A】	100
		防災教育の実施割合（小・中）【%】	100 【A】	100 【A】	100	100 【A】	100
	9	いじめの解消率（小・中）【%】	94 【B】	91 【B】	100	77 【C】	100
		不登校児童生徒の割合（小・中）【%】	小0.98 【C】 中4.45 【B】	小1.3 【C】 中4.1 【B】	小0.8 中4.0	小1.44 【C】 中4.87 【C】	小0.70 中3.65

基本 目標	施策	指標	R2 数値	R3 数値	R4 目標値	R4 数値	R6 目標値
4	10	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）【%】	66 【C】	74 【C】	100	83 【B】	80
	11	大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）【%】	34 【C】	37 【B】	40	46 【A】	60
5	12	公民館利用者数【万人】	10.3 【C】	14.1 【C】	18.0	14.1 【C】	18.0
	13	体育施設利用者数【万人】	32.0 【C】	37.7 【C】	51.1	39.4 【C】	51.1
	14	図書館・図書室の来館者数【万人】	10.0 【C】	12.1 【B】	15.0	12.7 【B】	15.5
	15	博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数【人】	30,136 【C】	31,471 【C】	57,800	41,927 【C】	66,000
		佐渡金銀山ガイド施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数【人】	323 【A】	324 【A】	320	331 【A】	500
		世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数【件】	43 【A】	53 【A】	45	53 【A】	90
		ジオパーク推進事業に携わった人数【人】	3,935 【C】	4,781 【B】	5,000	6,121 【B】	5,000
	埋蔵文化財出前授業の件数【件】	2 【C】	10 【A】	10	11 【A】	14	
16	市展出品点数【点】	— (中止)	1,070 【C】	1,350	1,047 【C】	1,300	
6	17	P T A等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）【%】	74 【C】	88 【B】	100	80 【B】	100
		地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）【%（校）】	97 (34) 【B】	94 (33) 【B】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)
		学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）【%（校）】	97 (34) 【B】	94 (33) 【B】	100 (35)	100 (35) 【A】	100 (35)
	18	幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）【%】	100 【A】	100 【A】	100	100 【A】	100

3 総評

令和4年度に執行された佐渡市教育委員会の所管事業の事業内容及び内部評価について、事務点検評価者として次のとおり総評する。

- (1) 「A」を得た項目は油断することなく進めてもらいたい。また、「C」評価の項目はコロナ禍の影響が大きいのだが、実態を見ると他の要因が考えられるものもある。提案された「Action」プランはよく吟味されていると思うので、今後も計画的に事業を進めてもらいたい。
- (2) 各事業を進める中で、人材育成に課題を持っているものが複数あった。難しい対応だと思われるが、単独ではなく他の機関や外部組織との連携を図りながら事業を進めてもらいたい。情報発信の工夫が解決の一翼を担うと思う。
- (3) 成果の実態に合わせて目標値を変えることは良いと思う。目標値を変更した場合は、その理由を「Action」に記載すると分かりやすい。また、当初の目標値と実態がかけ離れているものは、目標を維持する理由や対策を記載すると説得力が増すと思う。
- (4) 学校教育、社会教育とも新しいことを取り入れるだけでなく、不易流行でバランスよく人間形成に取り組んでももらいたい。
- (5) 社会教育の推進について、地区教育事務所との連携を第一に進めてもらいたい。

【項目別の主な評価、意見】

(1) 総合教育センター事業

児童生徒の学力実態はなかなか改善されていないが、個々の教員の能力は高いと思われる。目先の数値に左右されることなく、教員のモチベーションを高める研修やサポートに努めてもらいたい。また、標準学力検査 NRT の結果から児童生徒の課題を読み取ることも大切だと思う。宿題を増やすことよりも、生活習慣の改善から学力アップを図ってもらいたい。

(2) 心の教育支援事業

心の教室相談員事業等、成果を上げているものもあるが、不登校児童生徒の増加は大きな問題である。心の教育の重要な要素のひとつに、周りで支える大人の心のゆとりがあると思う。児童生徒に対応する職員に時間的な余裕ができるように努めてもらいたい。

(3) スポーツ推進事業

少子高齢化で体育施設利用者は頭打ちの傾向にあると思うが、スポーツに親しむ人の対象を広く捉えて、スポーツ推進を図ってもらいたい。

(4) 博物館・資料館管理運営事業

博物館の入場者数は目標に達していないが、事業の取組や参加者のニーズの把握等、他事業でも参考になるものもある。新たな企画だけでなく、成果の検証や情報発信の方法などプランに沿った取組を進めてもらいたい。また、事業に親しんでもらえるように工夫していることは評価できる。今後の定着を目指して取り組んでももらいたい。

(5) 世界遺産登録推進事業

「Action」プランにある情報発信の成果が今後の取組を左右すると思う。予算面を含め人材の確保と育成に努めてもらいたい。

(6) 芸術事業

地区文化祭も市展同様に出品者数や出品数の減少で苦慮している。社会教育課と地区教育事務所が緊密に連携し、新規公民館講座の検討やマンネリ化した自主講座への働きかけをしながら、仲間づくりや講座を受講してのスキルアップを図ってもらいたい。

(7) 佐渡学推進事業

伝統芸能の担い手の育成は大きな課題だと思う。佐渡文化財団の運営費にクラウドファンディングの活用を検討しているようであるが、取組の成果に期待している。さらに、他の事業でも活用の輪が広がる取組になるとよいと思う。